

## むすび、ふれあう、木部の子ら 坂井市立木部小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	4回(のべ) 4日

#### (2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー 15人
授業ボランティア(含:低ボラ) 4人
スクールバス停安全確認 約1,000人 * 見守り隊登録者数 約50人

#### (3) 特色ある活動

##### テーマ 「心の教育の充実」

#### 1) 事例 (ゲストティーチャーなど地域の人材を活用し、児童と学び、心の充実を図った事例)

- ① 「昔遊び」を教えてもらおう (1年・生活)
- ② 「そろばん」 (3年・算数)
- ③ 「盲導犬や聴覚障害」について (4年・総合的な学習〔福祉〕)

#### 2) 具体的な内容

- ①□ 坂井市社会教育指導員1名、坂井町家庭教育支援チーム員4名の方々にボランティアで「昔遊び」を教えて頂いた。「竹とんぼ」「おはじき」「お手玉」「めんこ・こま」の4コーナーに分かれ、いろいろな遊び方を紹介してもらい、名人さんとの交流を楽しんだ。終わりには名人さんにインタビューをしたり、合奏を披露したりした。また、後日、お世話になった方々にお礼の手紙を書いて送った。



- ② 「そろばん」を初めて習うということで、指の使い方、計算の方法などをこと細かく、個別に指導して下さった。間違えた箇所はすぐに指導して下さり、児童も安心して楽しく活動できたようだ。3時間配当であったが、第1時は、学校公開での授業参観と兼ねて、保護者と一緒にそろばんをやってみるなど、思いもかけない親子の交流もできたようだ。



- ③ 目の不自由な方をゲストティーチャーとしてお招きし、盲導犬の世話の仕方や盲導犬との暮らしなどについて明るく話して頂いた。実際に盲導犬にトイレをさせたり、一緒に階段を降りたりして下さった(右写真)。他に、聴覚障害の方が3人と通訳の方が3人来て下さり、生活の様子、困ったことや接し方について話してもらった。また、3つのグループに分かれ、「手話」で自己紹介する方法についても教えて頂いた。



#### 3) 成果と課題

- ① ボランティアの方に、今回、「昔遊びの名人さん」として参加して頂き、児童にはまったく馴染みのない遊びを教えて頂いたことで、児童はお年寄りの方との交流を大変喜び、感謝の心をもつことができた。しかし、当日は学校公開日で授業参観を兼ねていたため、名人さんとの交流だけでなく、親子の交流にもなり、どちらか一方に絞るともっと効果があったのではないかと考える。
- ② 親子で「そろばん」を学習したことで、家でも一緒にやってみる機会もでき、親子の交流が家庭でも行われたことが喜ばしい。今後の課題としては、これを糸口に親子の交流、特に会話が増えていくように学校でも考えていきたい。
- ③ 聴覚障害の人との接し方で、事前にネット等で下調べをし、頭では分かっていたつもりだが、実際に対面して話を聞くと分からないことが結構あるものだと感じた。特に聴覚障害の方たちに会った時、来て下さった人に対して「どの人が耳が聞こえないの？」という感じで、変にかしこまらずに触れあうことができたことがよかった。これから先、盲導犬や聴覚障害の方と出会っても素直に対応できると思う。